

授業科目 成人発声発語障害学 II

【担当教員名】 西尾 正輝		対象学年	3	対象学科	言語	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		態度		
◎		◎		◎		
【概要・一般目標：G10】 ディサースリア（Dysarthria、運動障害性構音障害）の評価技法について学ぶ。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
1. 標準ディサースリア検査（AMSD）を適切に実施できる。 2. 検査結果を解釈し、治療プランを立案できる。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ディサースリアの評価の概説					講義 西尾
2	標準ディサースリア検査（AMSD）：一般的情報の収集の仕方					講義 西尾
3	標準ディサースリア検査（AMSD）：発話の検査技法 1.					講義と演習 西尾
4	標準ディサースリア検査（AMSD）：発話の検査技法 2.					講義と演習 西尾
5	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 1.					講義と演習 西尾
6	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 2.					講義と演習 西尾
7	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 3.					講義と演習 西尾
8	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 4.					講義と演習 西尾
9	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 5.					講義と演習 西尾
10	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 6.					講義と演習 西尾
11	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 7.					講義と演習 西尾
12	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 8.					講義と演習 西尾
13	検査結果の解釈の仕方					講義 西尾
14	国際生活機能分類（ICF）に基づいた問題点の立案の仕方					講義 西尾
15	まとめ					講義 西尾
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		標準ディサースリア検査	西尾正輝	インテルナ出版	2004・5,700円＋税	
		標準ディサースリア検査評価用基準スピーチサンプル集	西尾正輝	インテルナ出版	2009・2,200円＋税	
		ディサースリアの基礎と臨床 第2巻	西尾正輝	インテルナ出版	2006・4,000円	
参考書		発話メカニズムの解剖と生理	新美成二（監訳）	インテルナ出版	1998・2,800円＋税	
その他の資料						
【評価方法】 定期試験とレポートにより成績を判定する。小テストを実施した場合は、評価内容として重視する。さらに、授業態度、出席日数等も評価にさいして勘案しうる。		【履修上の留意点】 検査結果を適切に解釈できるようになるために、発声発語器官の解剖と生理を習得しておくこと、また、聴覚的評価の演習と講義の復習を行うこと。				